

高野新聞

Vol.118



たかの
高野たけし

無所属 50歳

逗子市議会議員（6期）

- ・総務常任委員会委員
- ・議会運営委員会委員
- ・都市計画審議会委員

高野たけしの活動報告

～住みやすいまちづくりに向けて～

市民の皆様から頂いたご意見・ご要望を踏まえて行った令和5年第3回定例会における一般質問の一部をご報告いたします。

休日部活動の地域移行は課題が山積

文部科学省は2023年度から公立中学校での休日部活動の地域移行をスタートするとし、2023～2025年度の3年間で改革推進期間に定めています。ただし、地域によっては3年で実現することが難しい場合があるため、地域の実情に応じて可能な限り早期に実現することとしています。

部活動の地域移行によるメリットとしては、顧問を務める教員の負担軽減と部員数が減少した部活動の継続、専門的な知識や技術を持ったコーチやトレーナーからの指導などが挙げられます。一方デメリットとしては、指導者や活動場所の確保、さらには指導料や施設利用料等の費用負担などが考えられます。

本市の規模、スポーツ施設などのインフラを考えると部活動の地域移行に関してはかなりハードルの高い課題であると感じています。そこで、検討の進捗状況と今後の方針を教育長に質したところ、今年度庁内に準備会を立ち上げたところであり、今後はこの準備会を中心に各所との連携を図りながら丁寧に進めてきたいとの回答がありました。

学校単位にとどまらず、市内3中学校の連携や近隣自治体との広域連携など、様々な形態を検証し、生徒たちにとってより良い形を作っていただきたいと考えています。

政治資金の残り 26,985円

（令和5年6月～9月の内訳）

支出・・・ポスター掲示用両面テープ 3,068円

原因を解明し、逗子海岸を守ろう!!

逗子海岸の砂浜を維持するために神奈川県が毎年600～1,200㎡程度（ここ3年は田越川の浚渫に伴い約3,000㎡）の砂を搬入していますが、西浜では1年と経たずに砂が流出する状態が続いています。養浜対策を行ってくれていることには感謝しているのですが、根本的な解決に至ることはなく、これからも継続的に砂の移動、搬入を繰り返さなければなりません。

そこで、砂浜の減少を食い止め、将来にわたって逗子海岸の環境を守っていくためにも根本的な原因を突き止め、講ずるべき対策を協議する必要性を訴えたところ、海岸工学を専門とする大学の研究者の協力を得て、海流や砂の動きを踏まえた抜本的対策に向けた調査研究を進めていきたいとの見解が市長より示されました。

地域住民と連携し街路樹を保全

久木8丁目ハイランドエリアでは、樹木医による街路樹診断にてC判定（不健全）を受ける樹木が増えるなど、近年街路樹の老木化が課題となっていました。こうした状況を踏まえ、市と地元自治会が協議を重ねてきた結果、両者が連携し植え替え計画を行うことに。

街路樹の老木化が課題となっている他の団地などでも、今回のハイランドでの取り組みをモデルケースとして維持管理に努めていくべき旨提言したところ、担当部長からは地域住民の合意形成を図った上で、今回のような公民連携での手法を活かしていきたいとの考えが披瀝されたところです。

年内を目処に今後の方針を決定

小坪2丁目にある県有地(約2万3千㎡)を民間に売却するとの意向を受け、逗子市が活用の可能性を検討していく考えを表明。2024年3月までに市としての方針をまとめることで神奈川県のご理解を得ました。

その後、市長から災害時の一時避難場所・仮設住宅建設地としても対応できる公園など、市民全体の利用が見込まれる形を軸に検討していきたいとの考えが示されたところです。今後は9～10月にかけて活用に向けた提案等を収集し、11月に方針案を検討、12月には取得の可否を決定していく方向で動いていきます。

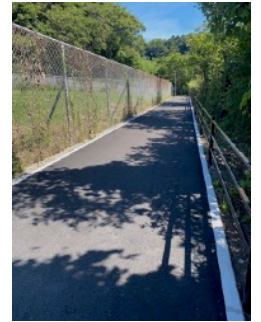
私たち市議会としても、より多くの市民の皆様から意見を聴取するとともに関係機関と情報の共有を図りながら、当該地の適正な活用に向け尽力していきたいと考えています。



久木川沿いからもアプローチが可能に

池子の森自然公園(緑地エリア)久木側出入り口へのアプローチ道の整備が完了し、久木川沿いからも行けるようになりました。

ただし、途中の公園用地部分には未舗装箇所も残っていることから、ベビーカーや車椅子での通行、小さいお子さんや高齢者の歩行に優しい通路となるよう、未舗装箇所の改修についても要望したところです。



※池子の森自然公園緑地エリア開設日
水曜・土曜・日曜・祝日の8:45～17:00

住み続けたい街ランキング3位!!

不動産会社が発表した【住み続けたい街ランキング2023】の首都圏版(東京・神奈川・千葉・埼玉)において、逗子市が3位に選ばれました。今回の調査結果を見ると、生活環境と自然環境のバランスが取れている自治体が上位にきているのかなと感じます。

これからも住んでいて良かったと思われるようなまちづくりを進めていきたいと考えています。

1位	葉山町	神奈川県
2位	鎌倉市	神奈川県
3位	逗子市	神奈川県
4位	印西市	千葉県
5位	横浜市西区	神奈川県
6位	武蔵野市	東京都
7位	茅ヶ崎市	神奈川県
8位	目黒区	東京都
9位	藤沢市	神奈川県
10位	文京区	東京都

キッチンカー連絡協議会と災害協定を締結

市内で開催される様々なイベントとキッチンカーのマッチング、地域における買い物支援などを目的に設立された逗子キッチンカー連絡協議会と逗子市が災害協定を締結。災害発生時には避難所等での炊き出し協力をしてくれることに。いざという時に頼りになるパートナーが増えたことを喜ばしく思います。(写真は桐ヶ谷市長と山口会長)



あなたの声を高野たけしへ

Tel / Fax:046-871-7368 E-mail:takano_zushi@yahoo.co.jp

高野たけしの活動
ブログはこちらから

